

## 関西地区会開催

平成24年2月17日(金)、ラマダホテル大阪において、関西地区会(代表幹事：鴨井功、NECシステムテクノロジー(株)顧問)が50名の参加を得て開催された。

冒頭、鴨井代表幹事から、関西イノベーション国際戦略総合特区及び関西地域の地産地消型ビジネスモデルの構築、地域経済の活性化を目指す関西クラウド構想の実現に向けて、IT産業がもっと貢献できることを積極的に発信したい、厳しい状況だからこそ挑戦していきたいと挨拶があった。

続いて、浜口会長は挨拶の中で、韓国出張の際に視察した韓国の最近のIT事情について、日本に比べITの利活用が数段進んでいること、その背景として15年前に経験したウォン危機でIMFの支援を受けたが、その支援の条件をクリアするために国全体で構造改革を進めることが必要であったこと等を紹介し、ITは国を変える推進力であり、韓国は大統領制ということもあり、国家元首のリーダーシップが発揮されたことが大きいのではないかと話された。

議事に入り、最初に地区会事務局から、来賓の紹介があった後、経済産業省商務情報政策局情報処理振興課課長補佐・菊島淳治氏から、経済産業省の情報施策として、農業分野におけるITの利活用及びITが果たす役割等の融合新産業の創出策の概要説明とともに、組込ソフトウェアを取り巻く状況の変化への対応として、組込ソフトウェアに係る信頼性・安全性の確保は、産業を支える上で極めて重要な課題であること等について説明があった。

JISA河野副会長・専務理事から、最近の経済・業界動向(JISA基本統計2011、DI調査、特サビ動態統計等)の説明の後、JISA Awards2012の受賞者、CO2削減自主行動計画、電力需給対策、集团的消費者被害回復に係る訴訟制度、社会保障・税番号制度等最近のJISA活動状況に関する報告があった。

最後に、地区会事務局から関西地区会の平成23年度期中の活動及び会計について報告があった。

休憩を挟んで、法政大学大学院政策創造研究科教授の北原正敏氏(元花王取締役)による「人が生きる組織」と題しての講演が行われた。

(菊池)